

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	水質検査事業			
担当部・課名	上下水道局水質管理課		評価者(課長)	福田 文彦	評価責任者(部長)	井筒 守

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600504	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	
	推進施策	(4)安全管理の強化			会計名	

事業の目的(対象)	水道水の水質検査	事業の目的(意図)	市民の水道水質に対する安心・安全の意識の向上を図る。
事業の内容(手段)	水質検査技術の向上と検査可能項目数の更なる拡充を目指す。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					水質検査結果の信頼性の確保	水道GLPを継続する事により、水質検査結果の精度と信頼性を確保する。	
				実績値	GLP認定継続	GLP認定継続	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	43,755	42,195	46,791	48,356
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	37,902	34,689		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円				分析機器等を3台更新するため	
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人					
	支出コスト	千円	決) 37,902	決) 34,689			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年4月1日水質基準に亜硝酸態窒素追加、平成27年4月1日ジクロロ酢酸とトリクロロ酢酸の基準値強化、農薬分析法改定、平成28年4月1日ホルムアルデヒド分析法の一部改定、平成30年4月1日金属分析等における濃度範囲の改定等		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 分析機器の老朽化が進んでおり、今後はその保守管理と更新に多大な費用が掛かる。予算の増減を平準化していく工夫が必要である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性			評価責任者コメント	水質検査は、「周南都市水道水質検査センター協議会」で、下松市、光市と共同で実施している。本業務は、水道水供給で最も重要であり、日本水道協会の優良試験所として「水道GLP」の認証を受けている。分析機器の更新等は、下松市、光市と調整の上、計画的に行うとともに人材育成にも努める必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など) 水質検査業務において検査の精度を高めるため、また分析に係る人的負担を軽減するために、分析機器の更新を行う。	備考
--	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	農薬類の分析(フォローアップ含む)(目標項目数:4項目)	水質管理目標設定項目の農薬類の検査拡充を目指す。	ダズメット、メタムをGC/MS法で、カルタップ、ピラクロニルをLC/MS法で、分析方法の開発を目指します。	否		0.50	
②	要検討項目中のプロモ酢酸類の分析(フォローアップ含む)(目標項目数:5項目)	要検討項目の検査拡充を目指す。	プロモクロ酢酸、プロモジクロ酢酸、ジプロモクロ酢酸、ジプロモ酢酸及びトリプロモ酢酸の分析方法の開発を目指します。	否		0.30	
③	水道GLPの認定継続による、検査結果の精度の向上	水質検査の信頼性を保証する。	水道GLPの更新審査を受け、認定を継続し、水道水質検査優良試験所規範の水準を継続する。	否		2.00	0.05
④	告示法の一部改正についての適切な対応	水質検査の信頼性を保証する。	一部改正された告示法を、検査項目ごとに熟知し、高い精度を保つ検査方法を確立する。	否		0.90	

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	協議会運営事業			
担当部・課名	上下水道局水質管理課	評価者(課長)	福田 文彦	評価責任者(部長)	井筒 守	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600504	分野	6都市基盤	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	
	推進施策	(4)安全管理の強化			会計名	

事業の目的(対象)	水道水の水質検査	事業の目的(意図)	共同で実施する。
事業の内容(手段)	協議会を設置して水道水の検査を共同で実施する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	共同検査体制の維持	協議会が存続していること		目標値	共同検査体制維持	共同検査体制維持	共同検査体制維持
				実績値	共同検査体制維持	共同検査体制維持	
				達成度(%)			

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	7,668	7,517	7,737	6,956	7,906
	(予算額) うち一財	千円					
	直接事業費	千円	7,309	7,147		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円					
	正職員人件費	千円	0	0			
	人工数	人					
	支出コスト	千円	決) 7,309	決) 7,147			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成10年4月1日新南陽市が参加、平成19年10月1日試験所を富田2-11-1に移転、平成21年度から事務費の各市負担開始、平成23年度から庁舎使用負担金の各市負担開始、平成27年度から消費税率変更による庁舎使用負担金の改定を実施		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性			評価責任者コメント	水質検査は、「周南都市水道水質検査センター協議会」で、下松市、光市と共同で実施している。本業務は、水道水供給で最も重要であり、日本水道協会の優良試験所として「水道GLP」の認証を受けている。分析機器の更新等は、下松市、光市と調整の上、計画的に行うとともに人材育成にも努める必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
負担金の庁舎使用負担金について見直しを図り、徴収理由を明確化するために、庁舎使用負担金と人件費負担金に分ける。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①							
②							
③							